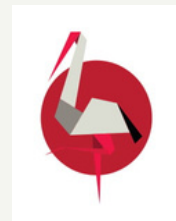


社会福祉法人 福田会 週次報告書

2022年12月6日 / Vol. 030



11月28日(月)～12月4日(日)の支援活動

支援所への支援物資提供
レストランプロジェクト
食材支援



ご支援総額

2022年12月1日までの寄付総額 108,390,537 円

寄付金使用総額 2918024.69 zł (約8463万円)

11/28(月)～12/4(日)の期間中の寄附金使用額

44255.56 zł (約128万円)

冬服支援のクーポンを利用された避難民のご夫婦
男性は帽子・コート・ブーツ、女性はダウンコートを購入し、「夫婦で買い物を楽しんだ。」と嬉しそうに話した。

活動内容



支援所への支援物資提供

カリタス支援所とPeron4支援所へ、週に1度の支援物資の買い出し支援を実施。

カリタス支援所では支援物資の配布を求める人で連日込み合い人手不足となっているため、福田会ボランティアスタッフ2名が、物資の仕分け作業の手伝いを行った。



レストランプロジェクト

市内レストラン3店舗と協力し、クーポンの利用者に無料で温かい食事を提供。

12月の1ヶ月間は、10月末に視察した Duchacka避難所への食事の配達を実施。

レストランは、以前学生寮への食事を配達してくれた Cetaring Magiczna が協力している。

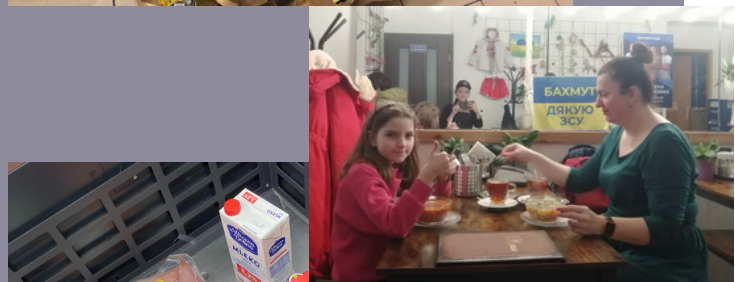


食材支援（毎週金曜日）

35家族に1週間分の昼食用食材を提供。
一人あたり50złの予算を設け、合計で 4727.03 zł（約142,000円）分の食材を購入。

参加家族の中には、12月4日(日)が出身地域の祝日で、「帰る事が出来ない分、特別な食事を作って祝いたい。」と普段購入しないステーキを手にする家族もいた。

また、「クリスマスは特別だから」と、自分のお金でポインセチアを購入する母親の姿も見られた。





現地の動向

ポーランド政府は、ポーランド人の税金負担を軽減するため、来年3月より、公営シェルターに滞在するウクライナ避難民へ賃料と食費の支払いを命じる法案を可決した。

同法案は妊婦や障がい者、高齢者は免除されるが、施設への滞在が120日以上 of 避難民は一日あたり最大 40 zł (約1,200円)、180日以上の場合は最大 60 zł (約1,800円) の支払い義務が課される。

ポーランドに出稼ぎに来ているウクライナ人の多くは飲食業に従事しており、レストラン従業員の平均給与は月額 2290 zł (約68,000円) とされ、公営シェルターに滞在しながら働いている避難民にとっては、非常に厳しい状況となる。

